



地域と大学がつながるサテライトってどんなところ？

第2回 岸和田サテライトってどんなところ？

西田 喜一

前回は、岸和田サテライトが誕生するまでの経緯を簡単にお話ししました。

どうして和歌山県にある大学が大阪の南部に来たの？と疑問に思われる方もいらっしゃると思います。実は、和歌山大学の学生は、大阪府出身者が5割近くにのぼります。和歌山県出身者と同等の割合です。大阪府の中でも岸和田市をはじめとする大阪南部の地域からの進学者は多く、岸和田市内にある高校からも多くの学生が進学します。

和歌山大学は、「地域を支え、地域に支えられる」大学をめざし、地域と連携した取り組みを進めてきました。岸和田サテライトは、その一環として、多くの進学者を擁する大阪南部地域の拠点として設置されたのです。

では、サテライトは地域の拠点として、どのような事業を展開しているのでしょうか？サテライトの設置目的は、「幅広い知識や教養が身につけられること」、「地域のキーパーソンの育成」、「地域活性化に繋げられる人材の育成」、「大学の情報発信」などが挙げられます。

それらの目的に合わせ、①高等教育事業、②生涯学習事業、③地域連携事業、④広報事業の4事業を実施しています。大学は、教育や研究で培った資源を、様々な

事業を通じて活かしていくことで、地域と大学の連携における大学の社会貢献を担おうとしています。

①高等教育事業は、大学の授業を一般に開放しています。②生涯学習事業は、月1回のわだいな浪切サロンをはじめ、大学が行う研究や活動をわかりやすく知ってもらうために講座・シンポジウムなどを開催しています。③地域連携事業は、岸和田市をはじめとする行政や地域で活動する個人や団体の方々とのつながりの中で聞く課題や要望を受け、地域連携コーディネーターが仲介し、様々なルートを通じて地域と大学をつなげていきます。④広報事業では、大学の入試に関する情報をはじめ、大学の情報を地域の人たちに発信します。

このような事業を通して、大学のあらゆる資源（情報）を地域の人たちにつなぐことや、逆に地域の人たちを大学（教員や学生）とつなぐのが私たちコーディネーターの役割の一つです。

次回以降は、③の地域連携事業について、普段なかなか表には出てこない地域の方々とのやり取りや活動をコーディネーターの視点で紹介したいと思います。

<にしだ・よしかず / 和歌山大学 岸和田サテライト
地域連携コーディネーター>

第97回 わだいな浪切サロン

和歌山大学・岸和田市地域連携事業

人と自然が共生した地域づくり

～環境ビジネスに目覚めた中国と、お尻に火がついてしまった？日本～

話題提供者 中島 敦司 (システム工学部 教授)

日時

2017年 11月 15日 水 19:00～20:30

場所

岸和田市立浪切ホール 1階 多目的ホール

最新の中国の環境対策について紹介し、技術大国として先を走っていたハズの日本の「お尻に火がついてしまった」状況を再認識し、日本がどのように進んでいけば地位を取り戻せるのか？日本と地方の未来を考えるきっかけとなれば幸いです。

わだいな浪切サロンとは？

毎月第3水曜日（2月と8月を除く）の夜7時、岸和田市立浪切ホールで開催するmini和歌山大学です。申込み不要、参加費無料。

お問合せ先：和歌山大学岸和田サテライト 〒596-0014 岸和田市港緑町1-1 浪切ホール2F

TEL & FAX : 072-433-0875

岸和田サテライト 検索